

# 令和6年能登半島地震における 災害対策資機材を活用した救出救助(石川県輪島市等)

3か年緊急対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発事例

概要: 石川県輪島市において、令和6年能登半島地震による土砂崩れ現場で3か年緊急対策により整備した災害救助活動用バックホウを使用し、土砂等を除去して安否不明者を発見・救出した。

対策名: 41 警察における災害対策に必要な資機材に関する緊急対策<3か年緊急対策>【警察庁】

- 実施主体: 警察庁、埼玉県警察等
- 実施場所: 石川県輪島市等
- 事業概要: 大規模土砂崩れや倒壊家屋現場において、大量の土砂やがれき等の中から要救助者を発見・救出するために必要な資機材(災害救助活動用バックホウ約20式)の整備を実施する。
- 事業費: 約2.5億円  
(うち3か年緊急対策による事業費約2.5億円)
- 効果: 石川県内では、多くの場所で土砂崩れが発生し、多数の家屋が土砂の下敷きとなった。  
埼玉県警察は、石川県輪島市内の土砂崩れ現場において、3か年緊急対策により警察庁から配備された災害救助活動用バックホウを有効に活用して安否不明者を捜索し、発見・救出した。



手掘りでの捜索活動の様子

より広範囲な捜索現場



災害救助活動用バックホウ

災害救助活動用バックホウを使用した捜索活動

